

10/15
五ノ月



コスモスの花・かかし乗せて

戦争法NO軽トラデモ

長野県立科町で12日、9条を守るたてしなの会が初の軽トラデモを行い、11人が参加しました。軽トラ6台と宣伝カーに思い思いのデコレーションを貼りつけ、のぼり旗をはためかせ、3時間ほど町内のほとんどの集落をまわりアピールしました。共産党の村田桂子町議も参加しました。

工券を渡した義姉の軽トラが列をへり町内を午後12日、長野県立科町

長野・9条を守るたてしなの会

モスの花を荷台に乗せて参加した竹花弘子さん(67)は「戦争への道は始まる前に止めないと、フレキがからスピードしコール。かからない。畑の草は伸びて、柿の実は色づいて収穫時期だけど、それを放り出してでも来なくちゃと思っ」て、でも来なくちゃと思っ「と語りました。デモの台に乗せて参加した64歳の男性は「戦争法はとんでもない」と。軽トラに「売渡してはならない故郷の山・水・空」と書きのメッシーシを貼りつけた男性は「PPPへの怒りも語りま

す。集落をまわる軽トラデモは前方の軽トラのスピードからスピードしコール。後方の宣伝カーがコールに呼応し町内を走りまわりました。田畑で作業中の町民が手を止めて「何事か」と見送る女性や「頑張ってくれ」と激励した男性もいました。

「戦争ダメ」世論広げて

石川・内灘町 ほうきの会が宣伝

石川県内灘町の戦争法の廃止を求める「うちなだ」戦争ほうきの会は10日夕方、内灘町の向陽台交差点で宣伝しました。参加者10人が「違憲の戦争法廃



ほうきを持って「戦争放棄」を訴える参加者=10日、石川県内灘町

止「平和を愛する政府をつくらう」などと書いたパネルを掲げ、手には「戦争ほうき」と書いたほうきを持って、歩行者にアピールしました。ほうきの会世話人の水口裕子さん(元町議)は「最初は無所慮」は「最初は反応が弱かった。いまは車から手を振る人、クラクションを鳴らすなど激励がある」と語りました。

内灘町の上田はつえさん(80)は「戦争は絶対ため、安倍さんは何を考えているのか。怒鳴りつけてやりたい」と怒りを打ちまわしました。会の世話人の角田和嘉さんは「戦争法廃止の世論をつくるために全町に知らせるチラシを作成中」と語りました。共産党の北川悦子町議は「戦争法廃止で共同を広げ、安倍政権を一刻も早く退陣に追い込みたい」と述べました。「ほうきの会」は今年7月から戦争法案に反対する活動を開始し、いまは火曜の朝と土曜は夕方2回交差点に立って戦争法廃止をアピールしています。